

リフォーム一体型ローンの普及の現状と課題

国土交通省

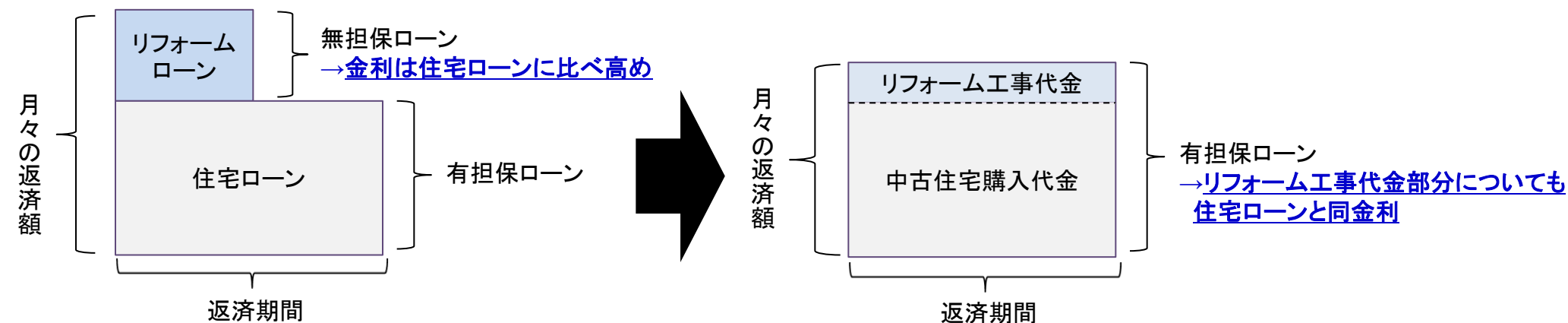
リフォーム一体型ローンの普及の現状とメリット

「リフォーム一体型ローン」とは

中古住宅の購入資金だけでなく、リフォーム工事代金も含めて融資する住宅ローン。
近年、中古住宅を購入し、リフォームしたうえで居住する人が増加していることを受け、大手銀行を中心に、「リフォーム一体型ローン」を取り扱う金融機関が増加している。

【住宅ローン+リフォームローン】

【リフォーム一体型ローン】



【利用者のメリット】

- リフォームローンを個別に借り入れるよりも、リフォーム工事代金部分を低い金利により借り入れることが可能
- 返済期間が長いため、当初の月々返済額が少額となる

リフォーム一体型ローンの普及に向けた課題

- ① 個別商品として「リフォーム一体型ローン」を掲げている金融機関は少なく、多くの金融機関では、既存の住宅ローン商品の範疇で、中古住宅購入代金とリフォーム工事代金を一本のローンで融資している。そのため、消費者から見ると商品として分かりにくいものとなっているが、もっと正面からこうした商品を位置づけられないか。
- ② 金融機関毎に、融資に伴い必要となる書類と提出のタイミングが異なるが、多くの金融機関では、事前審査までにリフォームの見積書を、本審査までにリフォーム工事請負契約を提出する必要があり、消費者にとってはリフォーム内容について検討する時間が少ない。宅建業者・リフォーム事業者及び金融機関が連携することで、状況を改善することができないか。

■中古住宅売買の取引フロー

